

# 映画作りに挑戦

## 有都小児童ら 台本作りから



▲ 撮影を行う児童たち

▶ 完成した映画の上映会の様子

1月28日、2月2・10日の3日間、有都小学校で映画作り学習が行われ、5・6年生が台本作りや撮影に挑戦しました。

この学習は、児童たちにも一人で一つの映像を作り上げる充実感を味わってもらおうと、講師に映画作りなどを教えるNPO法人cobonのスタッフらを招いて実施されました。

6班に分かれた児童たちは、撮影がある3回目までに映画のテーマを決めて、台本を作成。「児童がタイムスリップして、新選組と一緒に事件を解決する」など、児童たちが自由に考えた物語の台本が完成しました。

そして、いよいよ撮影に挑戦。初めての撮影に児童たちは少し硬い表情でしたが、リ

## 保護者ら招いて上映も



ハーサルを重ねるうちに緊張もほぐれていき、本番では大きな声で演技をしていました。

完成した映画は、2月14日の学校公開日に保護者らも招いて上映され、児童たちはツッコミを入れたり、笑い声をあげたりしながら、みんな楽しんで鑑賞していました。

2月3日の「節分」の日、八幡幼稚園で節分行事が行われ、園児たちが市商工会青年部員扮する鬼に向かって豆をまいて、今年1年の健康をお願いしました。

同会は、地域貢献の一環で地元園児たちに伝統行事を知

元気 いっぱい 鬼は外!



鬼に向かって豆をまく園児たち

ってもらおうと、毎年、豆まきの鬼役として市内の幼稚園や保育園に協力しており、今年も4園を訪れました。

園庭に集まった園児たちが「鬼さんやっつけられるかな?」とドキドキしながら待っている。太鼓の音とともに4人の鬼が登場。園児たちは少しビクビクした様子でしたが、すぐに鬼に向かっていき、「鬼は外!」の掛け声とともに元気いっぱい豆をまいていました。

藤下優斗くん(6)は「鬼が出てきても怖くなかったし、おもしろかった。あっちいけ」と思いながら豆をまいたと話していました。

# まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



お点前を披露する部員

## 高校生 お点前を披露

2月15日、「松花堂学生茶会」が松花堂美術館別館で行われ、京都八幡高校伝統文化部の部員が約80人の客を8席に分けてもてなしました。

この茶会は、学生に日本の伝統文化である茶道への理解を深めてもらおうと、毎年、松花堂庭園・美術館が主催しており、裏千家の師範から週に1回、指導を受けている同部の部員が参加しています。

部員たちは、訪れた客を茶室に案内し、戸の開け閉

めや足の運びなどの所作に気を配りながら、お茶菓子やお抹茶でおもてなし。

お点前では、部員が茶器を帛紗で拭いて清め、茶筌でお抹茶を点てる姿に、客は「手つきがきれいで、素晴らしい」と話し、にこやかにその様子を見守っていました。

前田莉花さん(18)は「お点前は緊張で心臓がバクバクしましたが、思いのほかうまくできました」とホッとした表情で話していました。

\* 松花堂 学生茶会

## 算数っておもしろい

2月13日、美濃山小学校でそろばん教室が行われ、3年生がそろばんを使った計算を学びました。

この教室は、児童に伝統的な計算道具であるそろばんに興味や関心を持ってもらい、算数の楽しさを知ってもらおうと、講師に全国珠算教育連盟の会員を招いて行われました。

はじめに、講師が児童たちにそろばんの起源や約500年前に日本に伝わったことなど、その歴史について

説明。

その後、児童たちはそろばんの珠の表す数字や動かし方を学んで、いよいよ計算に挑戦。初めてのそろばんでの計算に苦戦しながらも、友達同士でも教え合っただけで徐々に慣れていき、最後には先生が読み上げる足し算や引き算の問題にも次々と正解を重ねていました。

小椋あゆなさん(9)と川越愛佳さん(9)は「初めてそろばんをしたけど、筆算よりわかりやすく、おもしろかったです」と笑顔で話していました。



そろばんで計算する児童たち

美濃山小学校で  
そろばん教室